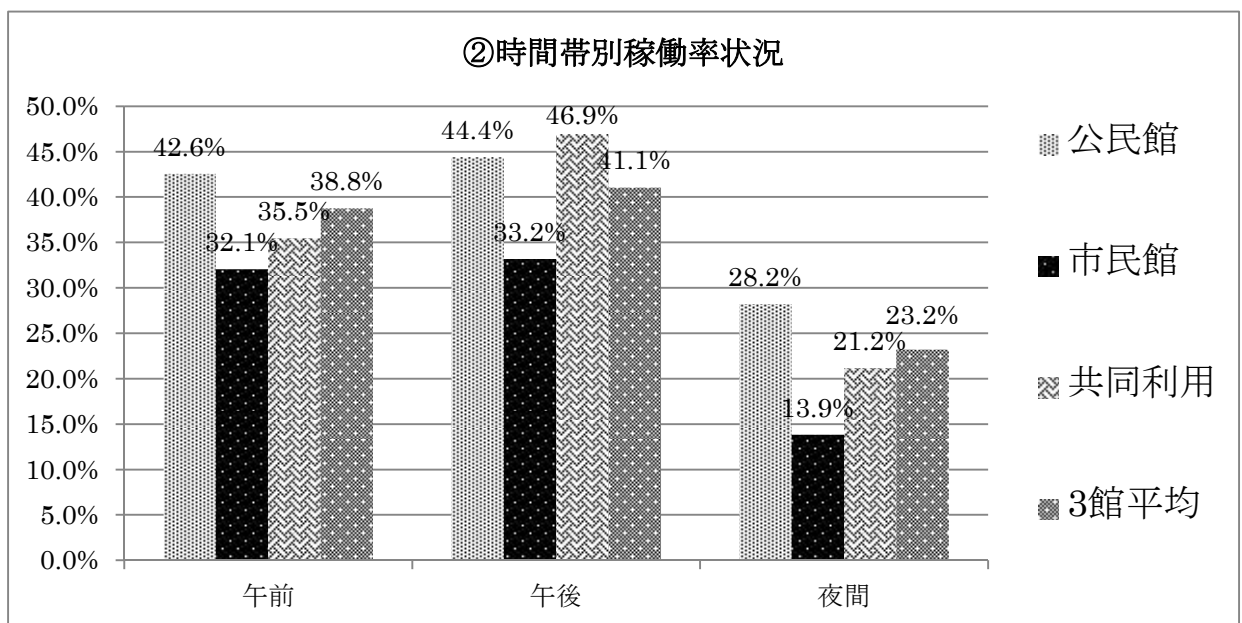
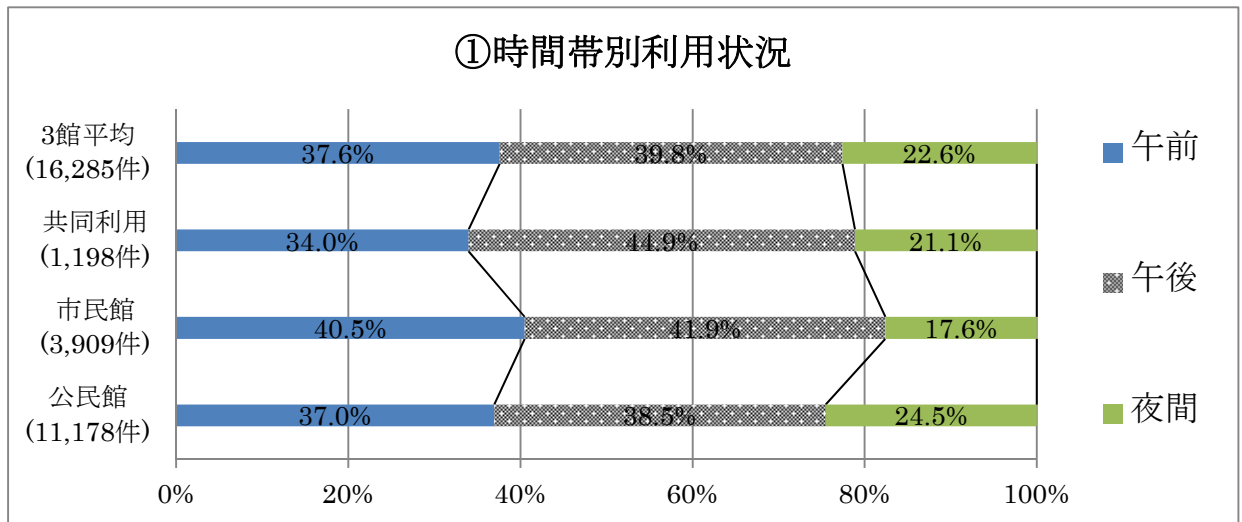


施設種別ごとの利用状況の概要

(平成24年4月1日～5月31日の利用実態調査)

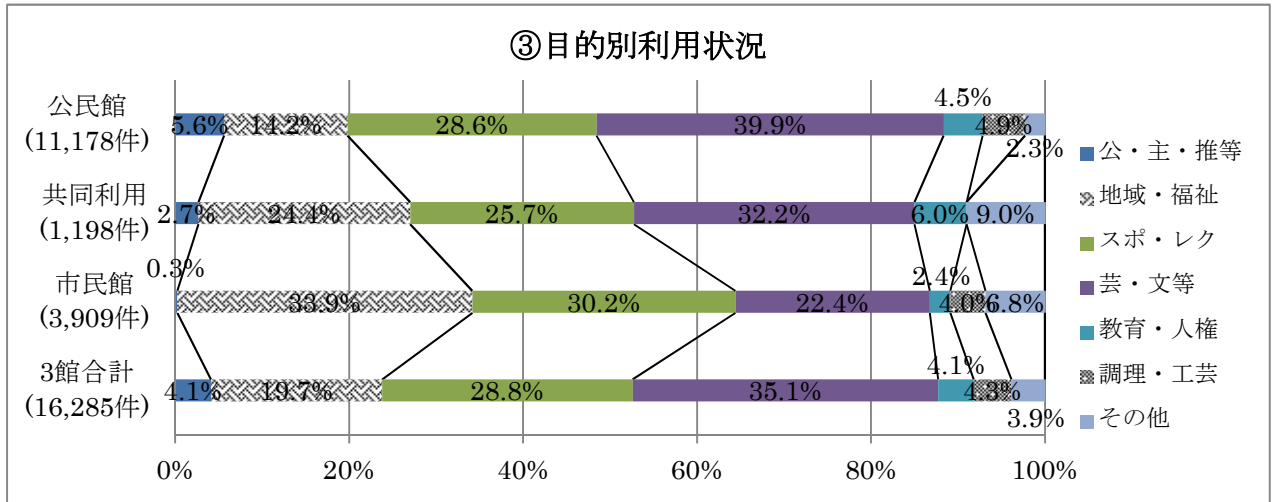
① 時間帯別の利用状況

時間帯別に利用割合(図①)を見ると、全体的に夜間の利用割合が低いことがいえる。公民館については、やや高めであるが、主要駅付近の利便性のよい一部施設などが30%を超えており牽引しているためである。稼働率(図②)は、いずれの時間帯も50%以下である。



② 目的別利用状況

利用目的別に割合(図③)を見ると、全体的にスポーツ・レクリエーション、芸術・文化等を目的にした利用で50%以上と高い割合を占めている。市民館の地域・福祉関係活動の高さに目立った特徴はあるが、それ以外の割合はどの館も近い傾向がある。



③ 団体別の利用状況

団体別に利用割合(図④)を見ると、全体的に一般利用(趣味・娯楽系)が多い。公民館について、特徴的な活動である主催事業・推進員会を含んだ行政系の活動も6.4%と低い。また、公民館グループによる利用は30%超と高い割合を占めているが、利用目的としては趣味・娯楽の利用が多く、一般利用と変わらないため、公民館グループを一般利用と同分類として、比較してみると共同利用施設と近い割合となることが窺える。市民館は、目的別の特徴にもあったように地域・福祉関係団体の比率が高い特徴がある。

